

平和の大切さ

古堅小 五年 角井 奈々子

今年の平和講演会では山城ウメトさんの

体験、戦争の事について話してもらいました。

山城ウメトさんはおなかの中に赤ちゃん

もいて、たくさんの荷物を持ち、子どもを連

れて、読谷から国頭村の辺土名の山にひな

しました。そしてその山には兵たいが来なか

った事に、感謝したそうです。しかもウメ

トさんのだんなさんとともに無事会えた事に、私

は「奇跡だね」と思いました。でもウメ

トさんは食料がないので読谷にもどってき

ました。畑には、ありがたくさん、家の前点

は兵たいがいて、ウメトさんと他のみなさん

も見つかってしまいました。兵隊はかんづち

や飲み物のあけて、食べさそうとしました。

食べ物には毒があつたのです。私はゾクゾクと

なりました。でも、何日かたつたら、六日分

のお米がとどけられ、みんな感謝して食べた

そうです。私も「よかつた」と心が温か

くなりました。その後、戦争は終わりました。でも、森にいた時も、上から飛行機が通って、爆弾が落ちて来て、日本兵隊がどんどんとおれていっただのが、戦争中一番わかつたそうです。

私は、山城ウメトさんの話を聞いて、戦争のこわさや、平和と食の大切さを知りました。平和じゃないと、戦争がおこり、たくさんの方の命がうばわれます。また、ふだんあたり前のように食べてる食べ物も、戦争にあつた

人達には、とても大切な物なんだと思ひました。私は、これから料理を作っている人に感謝し、平和になるように、人をきずつけないと心にちかいました。

戦争の話は暗くなつてしまつたので、戦争体験者の話はあまり人にはしませんが、今の平和が続くよう、戦争のことを忘れずにいるためにも伝え続けなければいけないと思ひます。学校でも、もっと平和について考える場がふえたらいいなと、私は思ひます。